

議会だより

CONTENTS

2019.11.1 vol.63



- 2 … 9月定例会 ここに注目!
- 4 … 総務厚生委員会・産業建設文教委員会レポート
- 6 … 9月定例会で審議された案件・政務活動報告
- 8 … 総務厚生委員会・産業建設文教委員会行政視察報告
- 10 … 令和元年度平戸市子ども議会開催
- 12 … 一般質問
- 16 … 平戸のチカラ



『NPO法人 山田・館浦地区まちづくり運営協議会に協力する郷土料理提供グループ』の皆さん
(生月船員福祉会館前にて)

とかいせん

No.63 2019.11.1 平戸市議会だより

編集・発行:平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-4111 FAX22-3427 E-mail:gikakai@city.hirado.lg.jp

平戸のチカラ

このコーナーでは平戸で元気に頑張っている女性の皆さんをご紹介します。



『NPO法人 山田・館浦地区まちづくり運営協議会に協力する郷土料理提供グループ』

同グループの皆さんは、生月で開催されている食のイベント「生月んおごっつお祭り」やクルージングツアーのおもてなしなどで生月のおいしい郷土料理を提供されています。

Q 活動を始めたきっかけを教えてください。

A 生月には、毎年4月3日は仕事を休み、山頭草原で、各家庭から持ち寄った弁当を住民と一緒に食べる「弁当開き」という風習がありました。この風習を復活させたいとの思いで、4年前の平成27年に「大弁当開き大会」を山田・館浦地区まちづくり運営協議会が主体となり開催しました。その中で、生月には自慢できる郷土料理があることを再認識し、「この素晴らしい郷土料理を他地区の方にもぜひ食べてもらいたい」「食のイベントを開催することで交流人口が増え、まちの活性化にもつながるのではないか」との思いで、根獅子の食祭りをお手本に、同年「生月んおごっつお祭り」を開催したことがきっかけです。

Q 主な活動内容を教えてください。

A 毎年1回、「生月んおごっつお祭り」を開催しています。また、今年はクルージングツアーで生月を訪れる観光客の皆さんにも生月の郷土料理を振る舞っています。どちらもとても好評で、特にクルージングツアーの観光客の方は、「ツアー中、いろいろな料理を食べたけど、生月の料理は全て手作りで温かみを感じ、ほっとする。生月に来て良かったです。」と感激されていました。

Q どんなことにやりがいを感じますか。

A どの料理も皆さんに喜んでいただけるようおもてなしの心を持ち、心を込めて作っています。その料理を「おいしい!」と何回もおかわりしてくださる姿を見たり、「料理から皆さんの真心が伝わって来ました。」という声をかけていただいた時などは、とても嬉しくやりがいを感じます。

Q 今後について

A 今後も研究を重ね、おいしい郷土料理を提供できるように頑張ります! 郷土料理に興味を持ってくださる男性もいらっしゃいますので、男性が作る郷土料理も取り入れられたらいいなと思っています。また、この素晴らしい郷土料理を後世に伝えていくためにも、若い人にも私たちの活動に積極的に関わっていただきたいと思っています。これからも食を通して生月の魅力を発信していきます。

【お知らせ】

山田・館浦地区まちづくり運営協議会では、現在、議会からの提案で実現したふるさと納税の紹介に積極的に取り組んでいます。地元の皆さまのご協力をお願いいたします。これからもまちの活性化のために、地域の皆さんと協力して積極的に活動していきます。



広報特別委員会

委員長	山崎	一洋
副委員長	池田	稔巳
委員	井元	宏三
委員	小山田	輔雄
委員	松尾	実
委員	山田	能新

編集後記

現在、平戸市議会には18人の議員がいます。市民の皆さんは何人の議員を存じでしょうか。そして、何人の議員と会話を機会があったでしょうか。そう考えると、選挙の時に突然現れて、名前を連呼されても、「あの人はどこの誰?」と思うことでしょう。

私たち議員はどうあるべきなのか。選挙での投票率低下の原因には、誰がやっても同じことと言われるような市民との距離感があるのではないのでしょうか。

市民が望む議員の役割の一つとして、もっと地域の「なりわい」に足を運び、会話の中に宿題を見つけてほしい気持ちがあるのではないのでしょうか。

毎年、9月議会の候、お彼岸の季節を的確に示してくれる、あの彼岸花のように、存在感のある議会と議員であらねばと思います。(池田 稔巳)

